

大田区都市計画マスタープラン改定に向けた
アンケート調査結果の速報

無作為抽出者によるアンケート調査

令和元年 11 月

アンケートの実施概要

● 目的

区の内外を取り巻く情勢の変化などを踏まえて、具体性ある将来ビジョンを確立し、まちづくりを推進するため、都市計画マスタープランの改定に向けた検討を令和元年度から開始する。これに伴い、現行大田区都市計画マスタープラン（平成23年3月改定）の成果検証や今後のまちづくりの方向性の検討等に役立てるため、区民アンケートを実施する。

● アンケートの実施方法

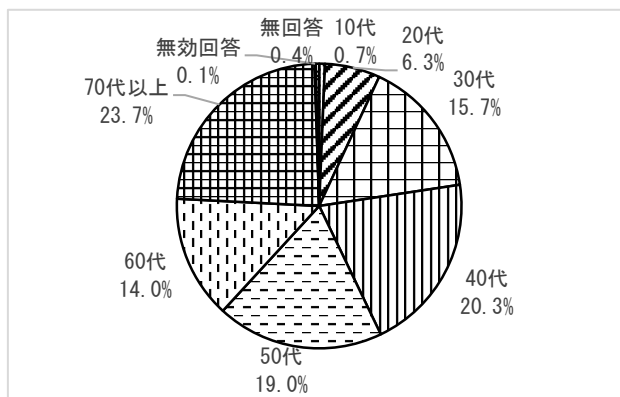
無作為抽出者によるアンケート

- (1) 対象：18歳以上区内在住者（無作為抽出2,000名）
 - (2) アンケートの回答及び提出方法：以下のいずれかの方法で回答
 - ・ 【郵送】アンケート用紙を記入後、同封の返信用封筒で都市計画課へ返送
 - ・ 【電子申請】アンケート用紙に記載のあるURLもしくは二次元バーコードからアクセス可能な、専用の回答フォームから回答
 - (3) 実施期間：令和元年9月11日（水）～令和元年9月25日（水）
 - (4) 回収結果
 - ・ 回収数：765通（郵送での回答：674通、電子申請での回答：91通）
 - ・ 回収率：38.3%（サンプル数 765通 / 配布 2,000通）
- ### ● 設問の概要
- (1) 属性
 - (2) 現行都市計画マスタープランの認知度について
 - (3) まちづくりに関する8つのテーマの満足度や今後のまちづくり等について
（土地利用、交通ネットワークの整備、水と緑のまちづくり、安心・安全なまちづくり、住宅・住環境の整備、産業のまちづくり、景観のまちづくり、環境のまちづくり）
 - (4) 大田区のまちづくりの魅力や課題について
 - (5) まちづくりへの参加経験について

1. 属性

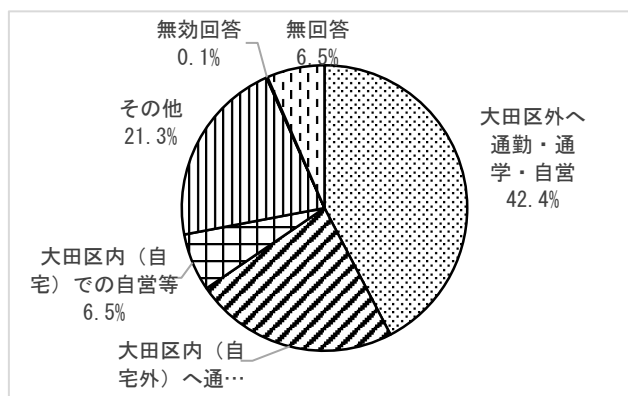
● 年齢層

・「70代以上」の回答者が23.7%と最も多い。次いで「40代」の回答者が20.3%、「50代」の回答者が19.0%と多い。



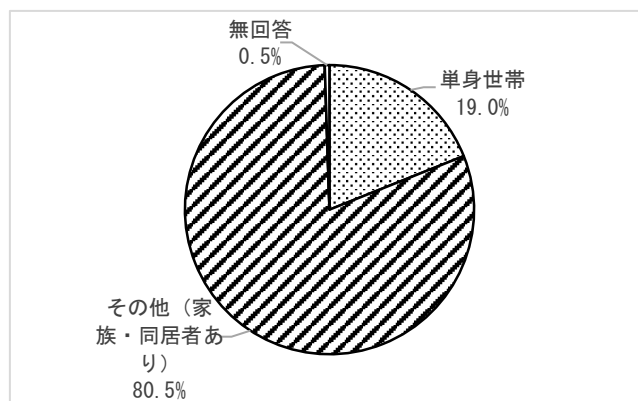
● 通勤・通学地

・「大田区外へ通勤・通学・自営」の回答者が42.4%と最も多い。



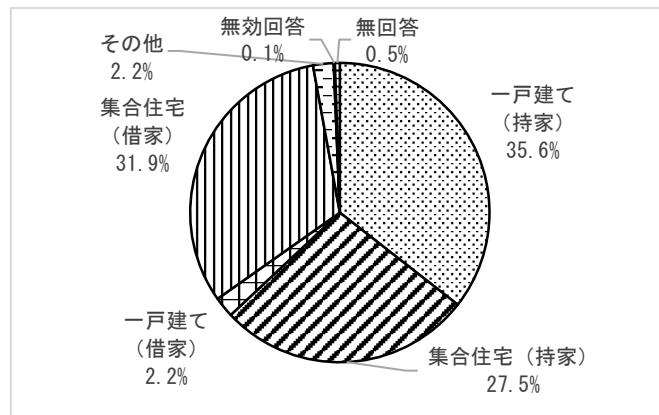
● 世帯構成

・「その他（家族・同居者あり）」の回答者が80.5%を占める。



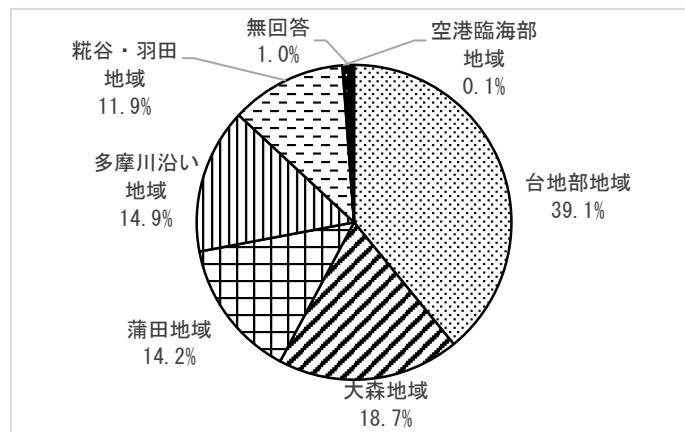
● 居住形態

・「一戸建て（持家）」が 35.6%と最も多く、次いで「集合住宅（借家）」が 31.9%と多い。



● 居住地域

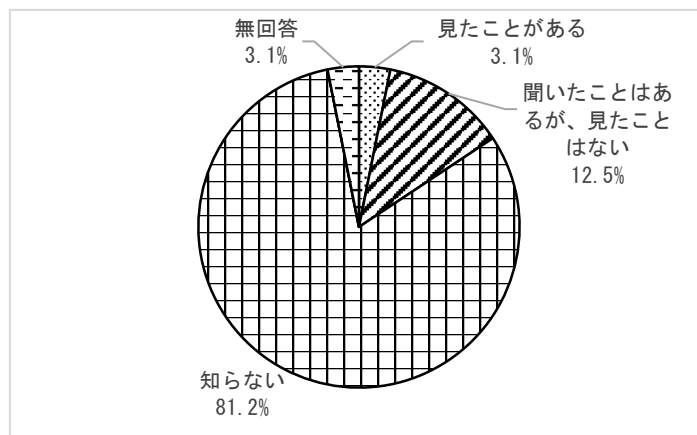
・「台地部地域」の回答者が 39.1%と最も多い。



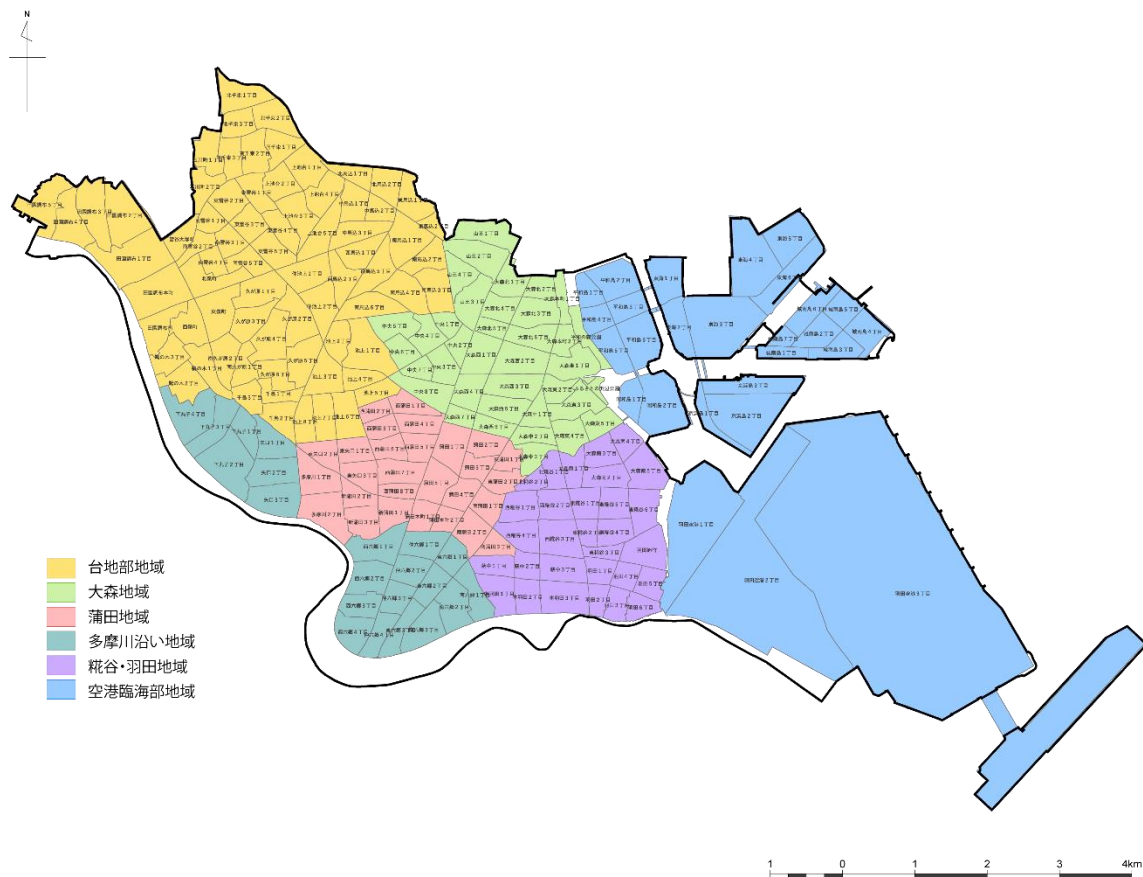
2. 現行都市計画マスタープランについて

● 都市計画マスタープランの認知度

・「知らない」を選択した回答者が 81.2%、「聞いたことはあるが見たことはない」を選択した回答者が 12.5%であり、都市計画マスタープランを知らない、または見たことがない人は 9 割を超えている。



(参考) 地域区分図

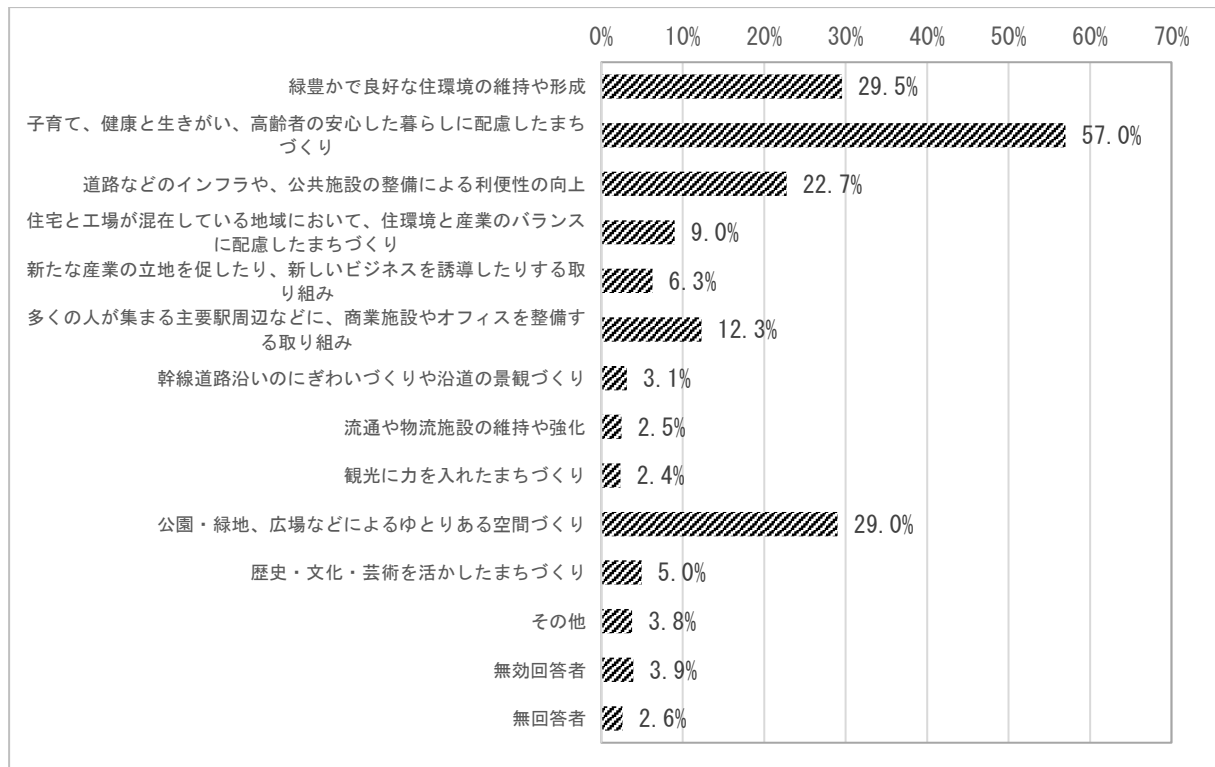


| 地域区分 | 町丁目 |
|-----------|---|
| 1 台地部地域 | 池上1～8丁目、石川町1・2丁目、鶉の木1～3丁目、上池台1～5丁目、北千束1～3丁目、北馬込1・2丁目 |
| | 北嶺町、久が原1～6丁目、千鳥1～3丁目、田園調布1～5丁目、田園調布本町、田園調布南 |
| | 仲池上1・2丁目、中馬込1～3丁目、西馬込1・2丁目、西嶺町、東馬込1・2丁目、東嶺町 |
| | 東雪谷1～5丁目、南久が原1・2丁目、南千束1～3丁目、南馬込1～6丁目、南雪谷1～5丁目、雪谷大塚町 |
| 2 大森地域 | 大森北1～6丁目、大森中1～3丁目、大森西1～7丁目、大森東1～5丁目、大森本町1・2丁目 |
| | 山王1～4丁目、中央1～8丁目、ふるさとの浜辺公園、平和の森公園 |
| 3 蒲田地域 | 蒲田1～5丁目、蒲田本町1・2丁目、新蒲田1～3丁目、多摩川1・2丁目、西蒲田1～8丁目、 |
| | 東蒲田1・2丁目、東矢口1～3丁目、南蒲田1～3丁目 |
| 4 多摩川沿い地域 | 下丸子1～4丁目、仲六郷1～4丁目、西六郷1～4丁目、東六郷1～3丁目、南六郷1～3丁目、矢口1～3丁目 |
| 5 糀谷・羽田地域 | 大森南1～5丁目、北糀谷1・2丁目、西糀谷1～4丁目、萩中1～3丁目、羽田1～6丁目、羽田旭町 |
| | 東糀谷1～6丁目、本羽田1～3丁目 |
| 6 空港臨海部地域 | 京浜島1～3丁目、城南島1～7丁目、昭和島1・2丁目、東海1～6丁目、羽田空港1～3丁目、平和島1～6丁目 |

3. まちづくりに関する8つのテーマについて

- 大田区のまちづくりの方向性や将来のまちの姿について

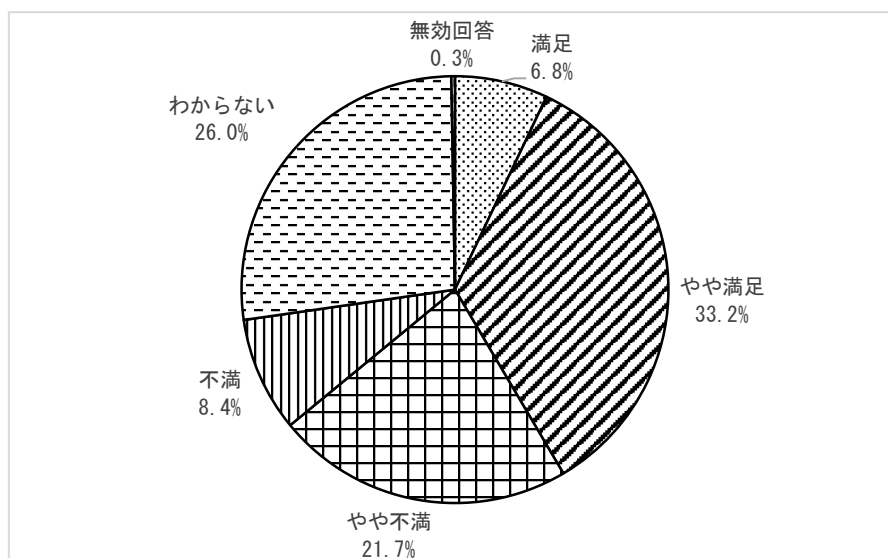
・「子育て、健康と生きがい、高齢者の安心した暮らしに配慮したまちづくり」を選択した回答者が57.0%と最も多い。



- 大田区のまちづくりの方向性（住宅、工場、商業のバランスがとれているか）の満足度

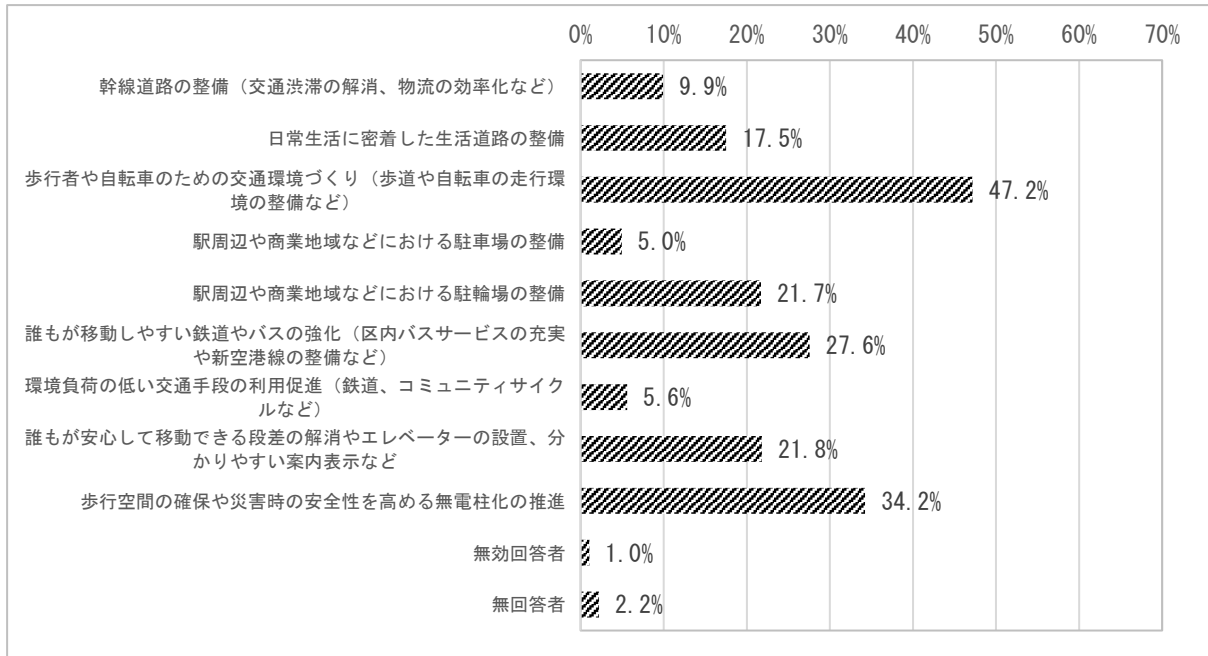
・「やや満足」を選択した回答者が33.2%と最も多い。

・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は40.0%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は30.1%である。



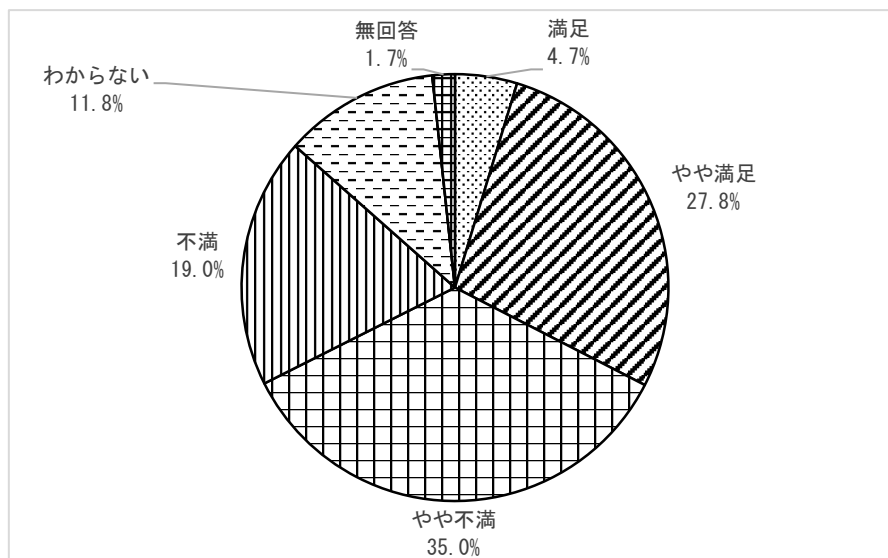
● 快適な交通環境の整備

・「歩行者や自転車のための交通環境づくり」は 47.2%と半数近くの回答者が選択している。次いで「歩行空間の確保や災害時の安全性を高める無電柱化」が 34.2%であり、歩行者や自転車のための空間の充実を求める意見が多い。



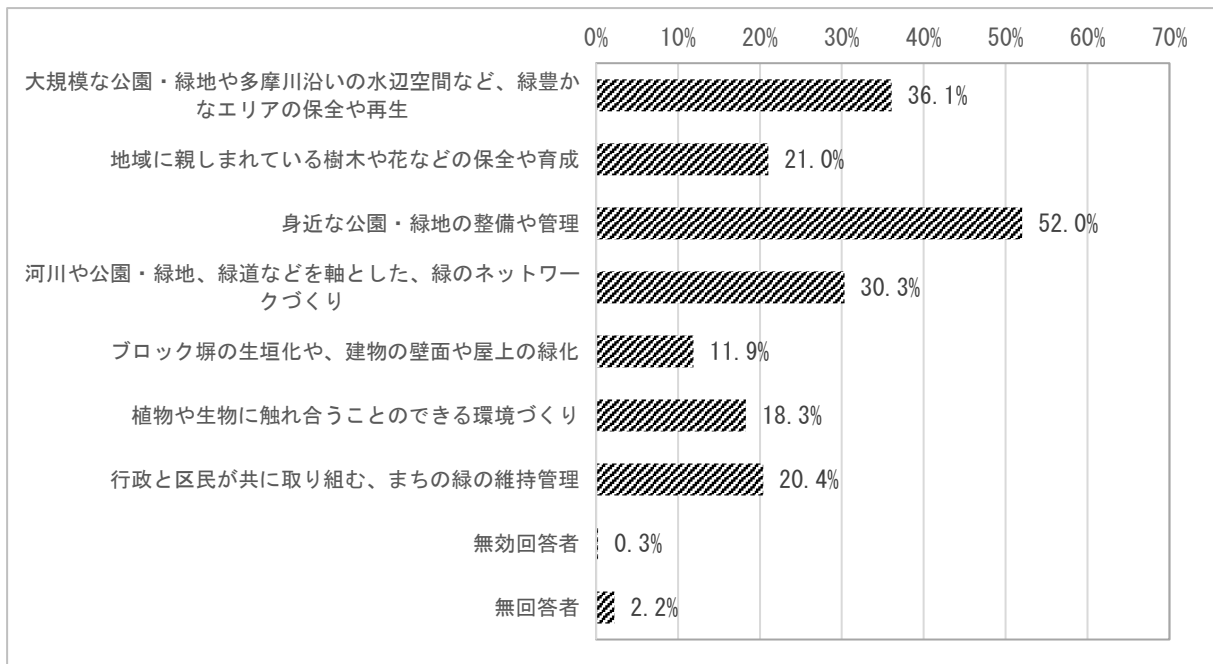
● 快適な交通環境を目指した取り組みの満足度

・「やや不満」を選択した回答者が 35.0%と最も多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は 32.5%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は 54.0%である。



● 潤いとやすらぎのある、水と緑のまちづくり

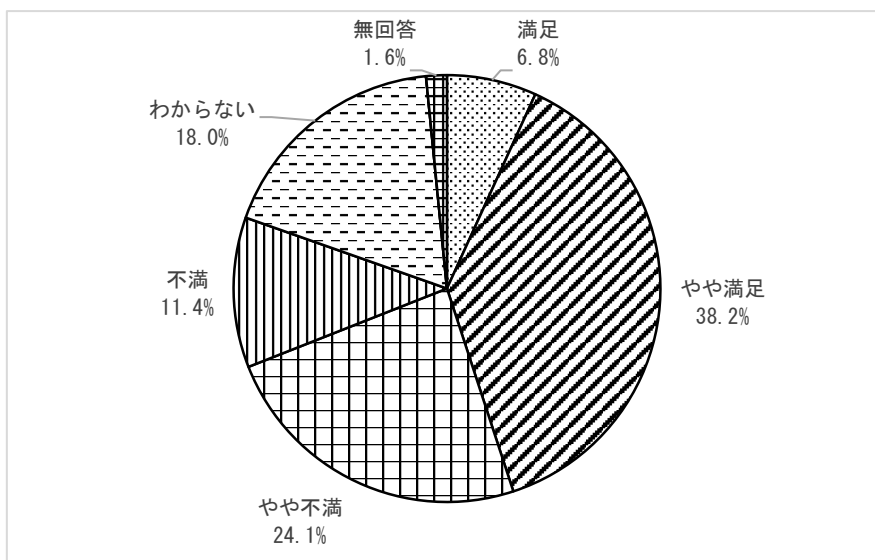
・「身近な公園・緑地の整備や管理」は、52.0%の回答者が選択しており、日常的な生活に必要な公園や緑地を求める意見が多く寄せられた。



● 潤いとやすらぎのある、水と緑のまちづくりの満足度

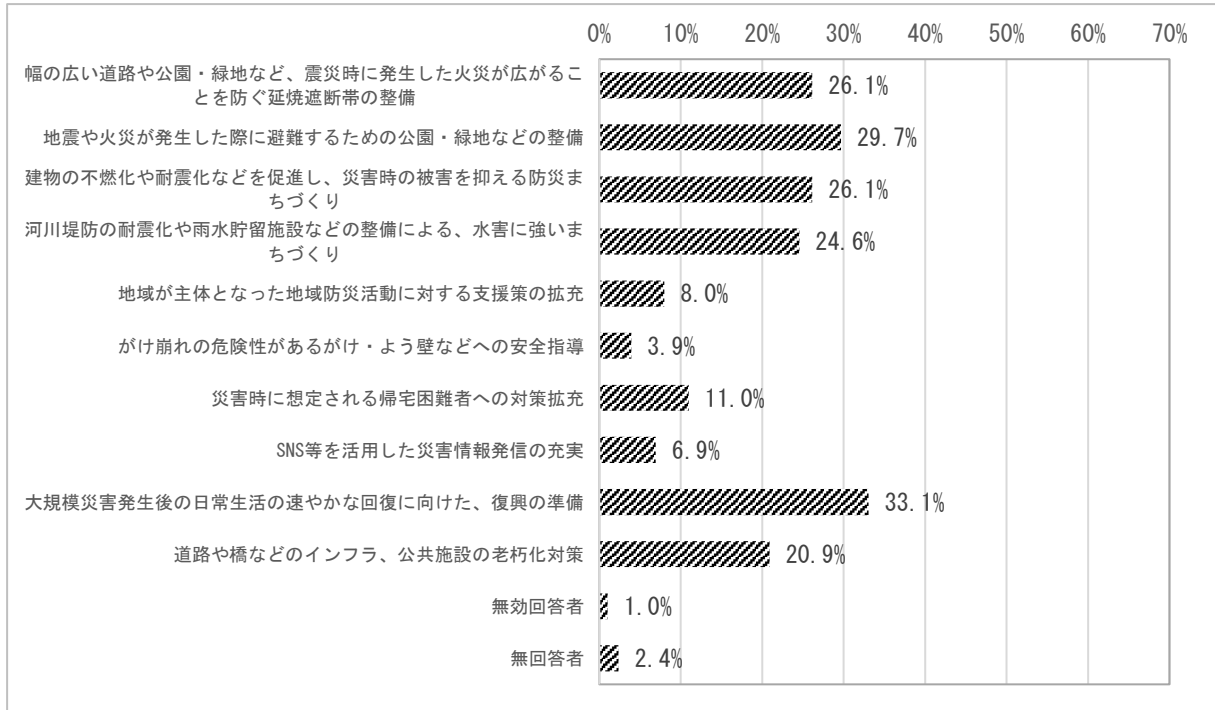
・「やや満足」を選択した回答者が38.2%と最も多い。

・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は45.0%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は35.5%である。



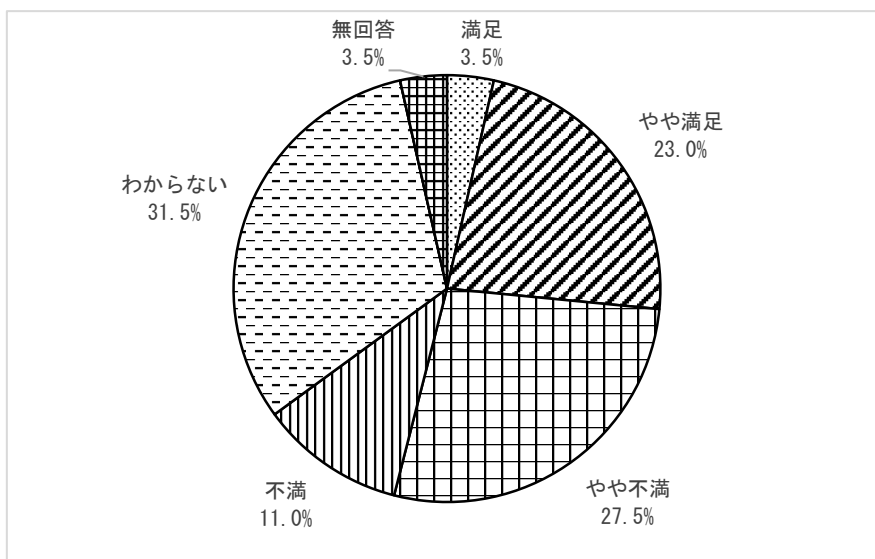
● 安全・安心なまちづくり

・「大規模災害発生後の日常生活の速やかな回復に向けた、復興の準備」が33.1%と最も多い。
 その他にも、火災時の延焼被害を抑え、避難のための空間ともなる公園や緑地の整備など、防災に関する意見が多く寄せられた。



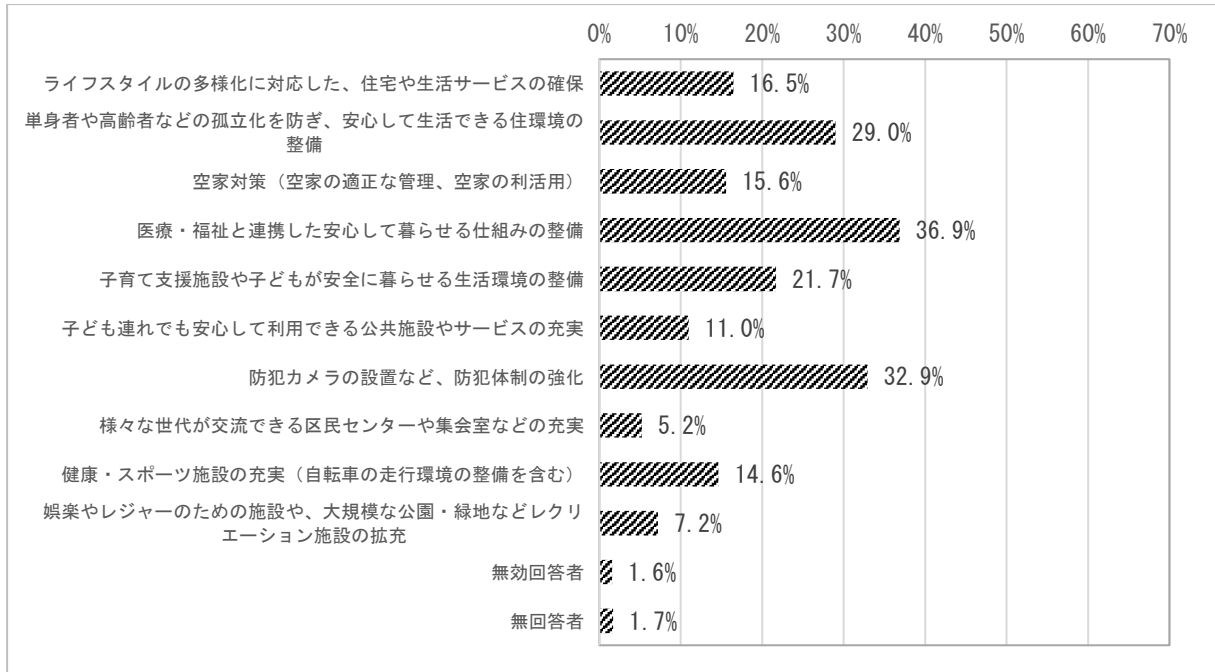
● 安全・安心なまちづくりの満足度

・「わからない」を選択した回答者が31.5%と最も多く、次いで「やや不満」が27.5%である。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は26.5%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は38.5%である。



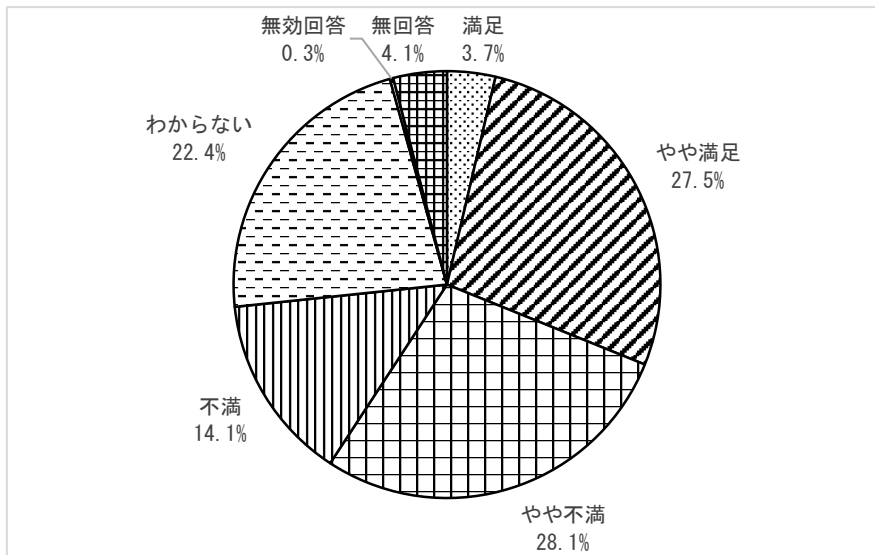
● 誰もが住みやすい住環境

・「医療・福祉と連携した安心して暮らせる仕組みの整備」を選択した回答者が 36.9%と最も多く、次いで「防犯カメラの設置など、防犯体制の強化」が 32.9%、「単身者や高齢者などの孤立化を防ぎ、安心して生活できる住環境の整備」が 29.0%と多い。



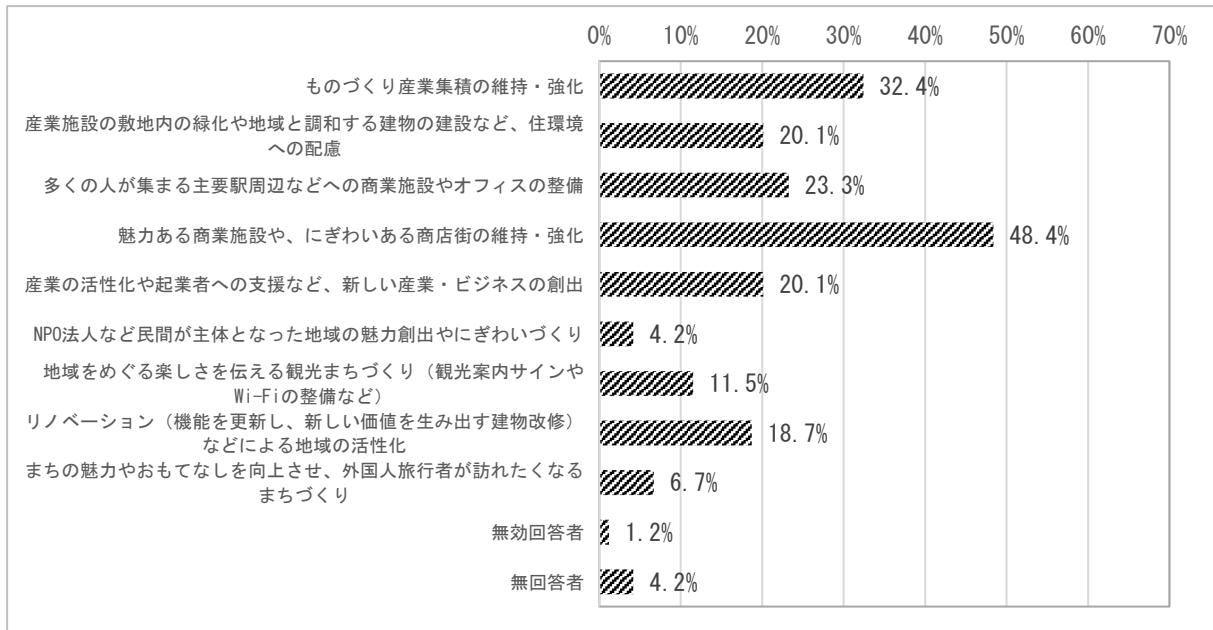
● 誰もが住みやすい住環境を目指した取り組みの満足度

・「やや不満」を選択した回答者が 28.1%と最も多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は 31.2%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は 42.2%である。



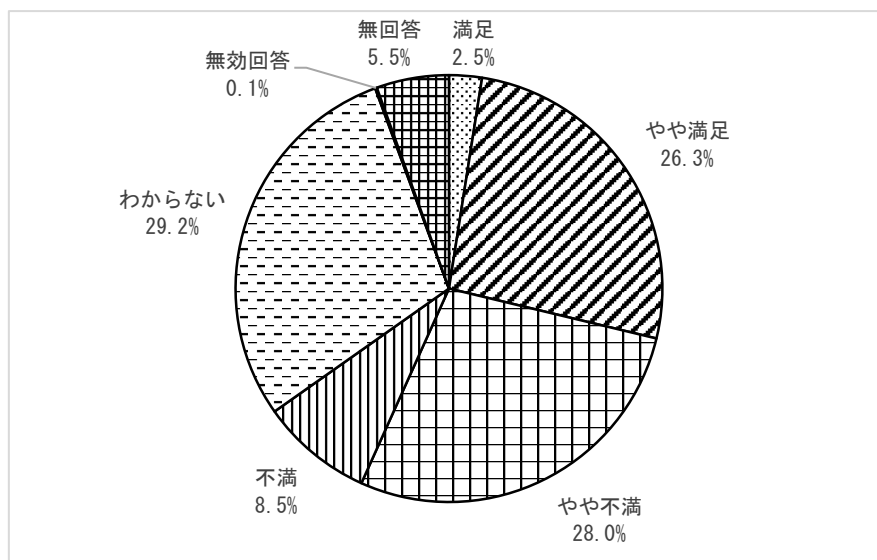
● 産業分野におけるまちづくり

・「魅力ある商業施設や、にぎわいある商店街の維持・強化」を選択した回答者が 48.4%と最も多い。次いで、「ものづくり産業集積の維持・強化」を選択した回答者も多い。



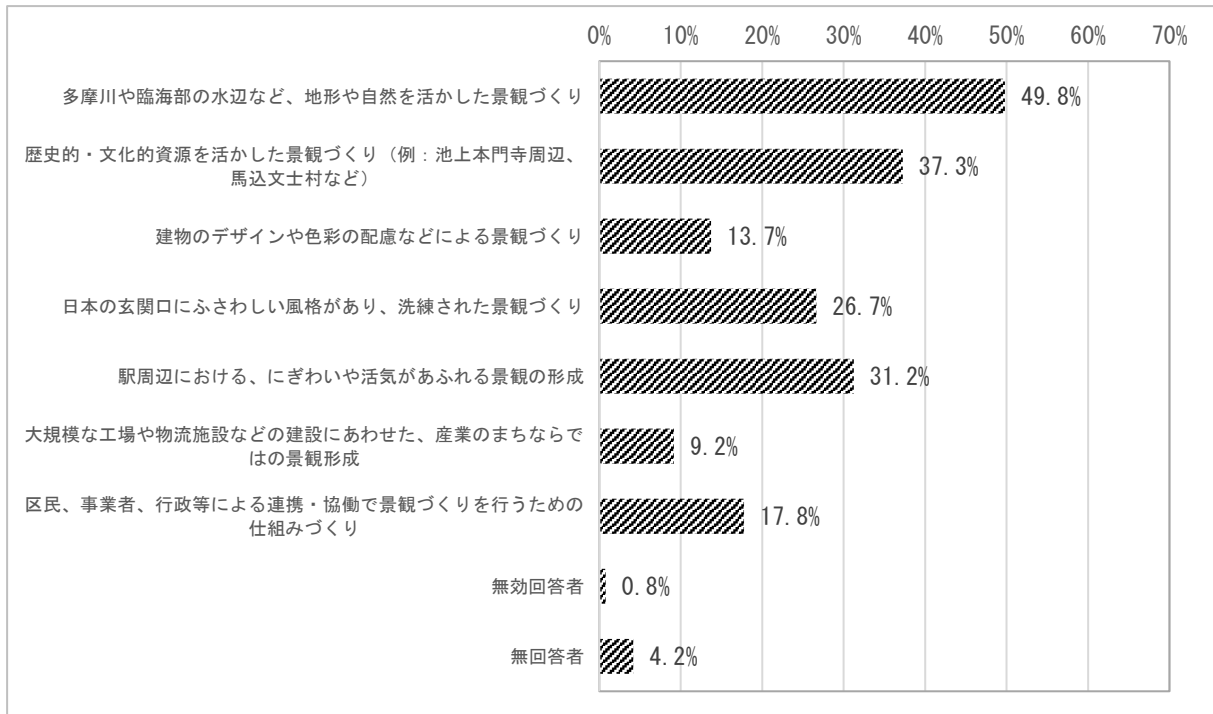
● 産業分野におけるまちづくりの満足度

・「わからない」を選択した回答者が 29.2%と最も多く、次いで「やや不満」が 28.0%と多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は 28.8%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は 36.5%である。



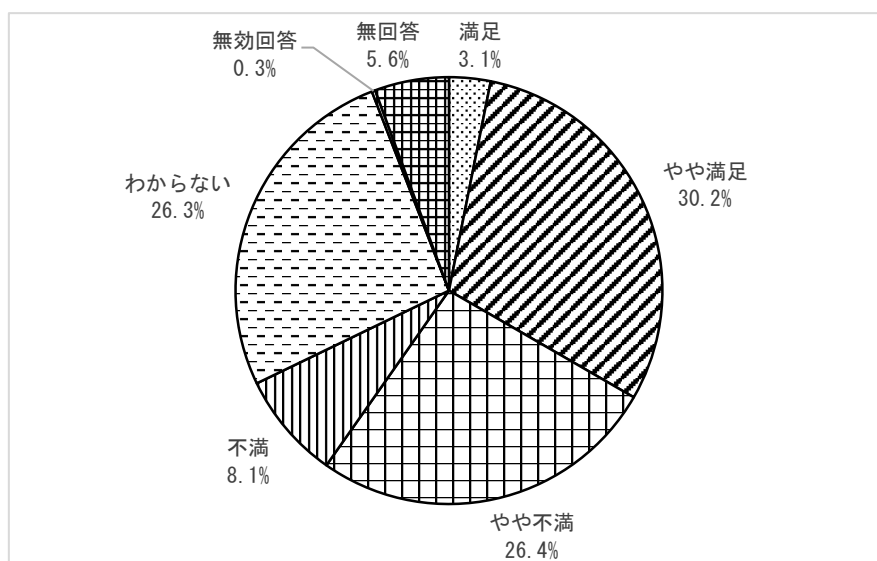
● 魅力ある景観形成や、大田区らしい景観形成

・「多摩川や臨海部の水辺など、地形や自然を活かした景観づくり」を選択した回答者が 49.8%と最も多い。次いで「歴史的・文化的資源を活かした景観づくり」を選択した回答者が 37.3%と多く、大田区の自然環境や歴史、文化的資源を活かした景観を重要視する意見が多い。



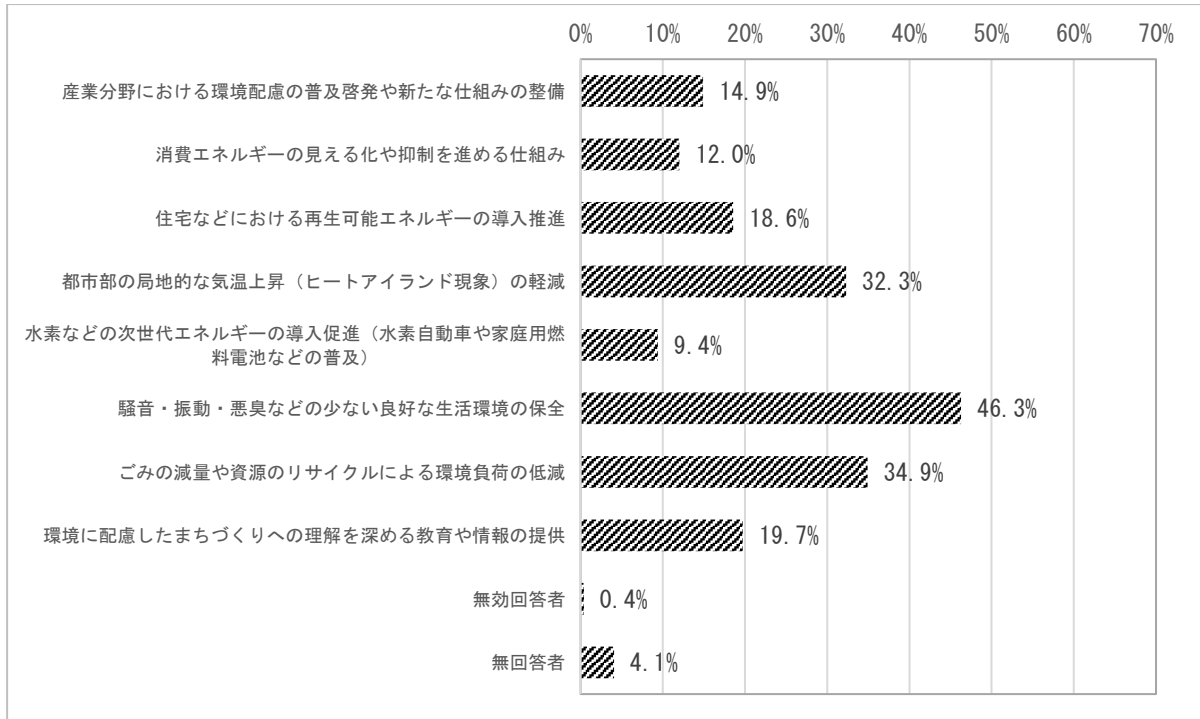
● 魅力ある景観形成や、大田区らしい景観形成についての満足度

・「やや満足」を選択した回答者が 30.2%と最も多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は 33.3%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は 34.5%である。



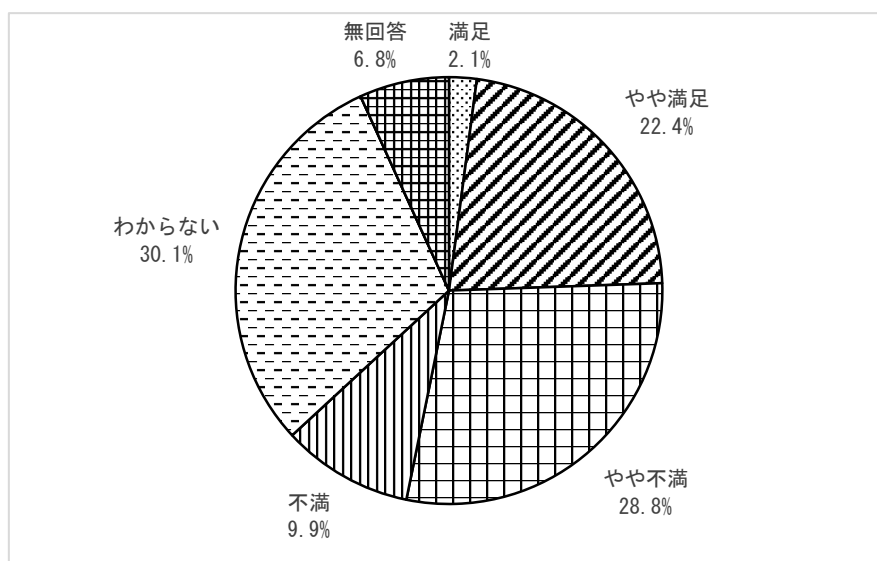
● 環境に配慮したまちづくり

・「騒音・振動・悪臭などの少ない良好な生活環境の保全」を選択した回答者が 46.3%と最も多く、次いで「都市部の局地的な気温上昇（ヒートアイランド現象の軽減）」や「ごみの減量や資源のリサイクルによる環境負荷の低減」が3割を超えている。



● 環境に配慮したまちづくりの満足度

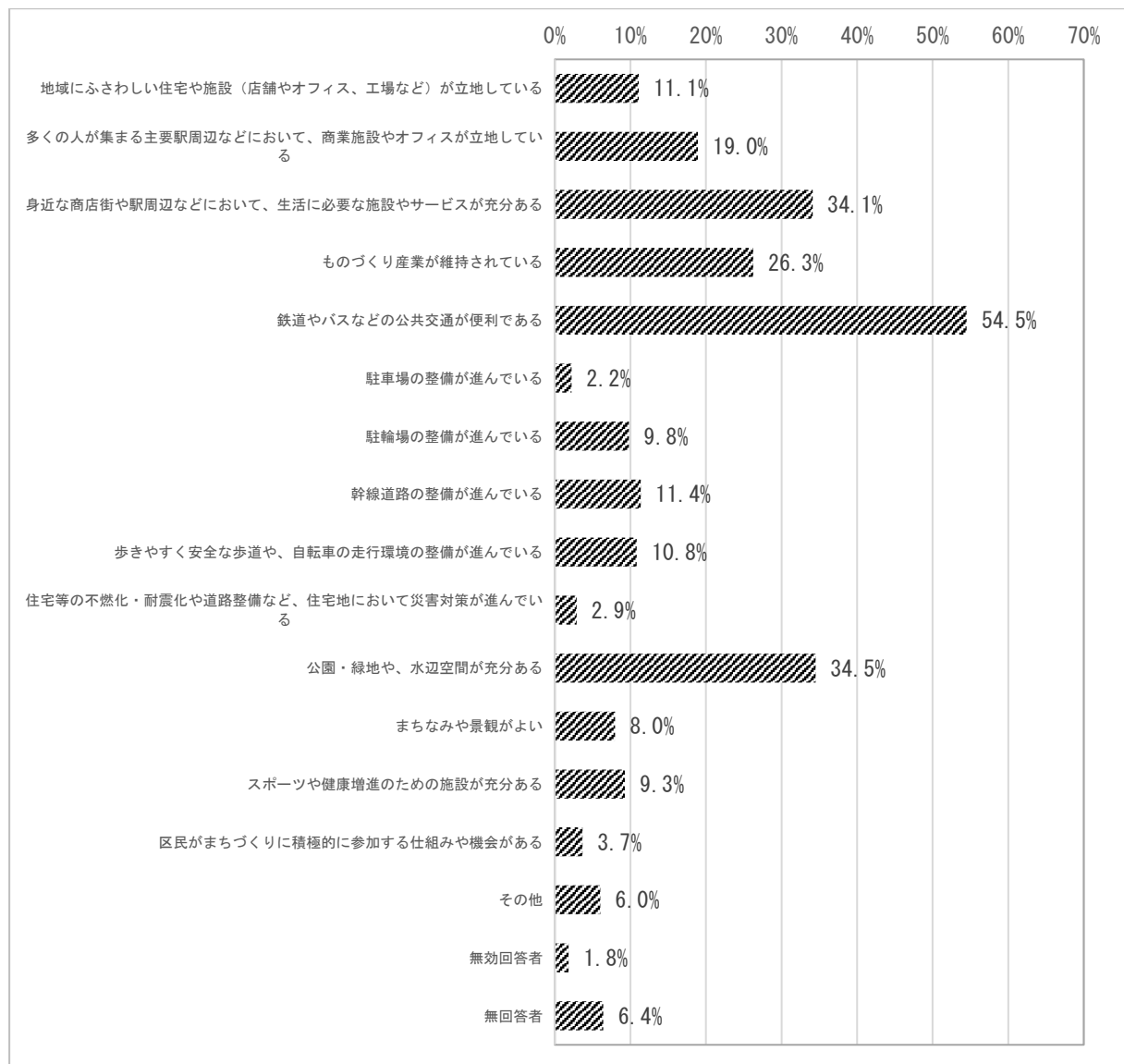
・「わからない」を選択した回答者が 30.1%と最も多く、次いで「やや不満」が 28.8%と多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は 24.5%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は 38.7%である。



4. 大田区のまちづくりの魅力や課題について

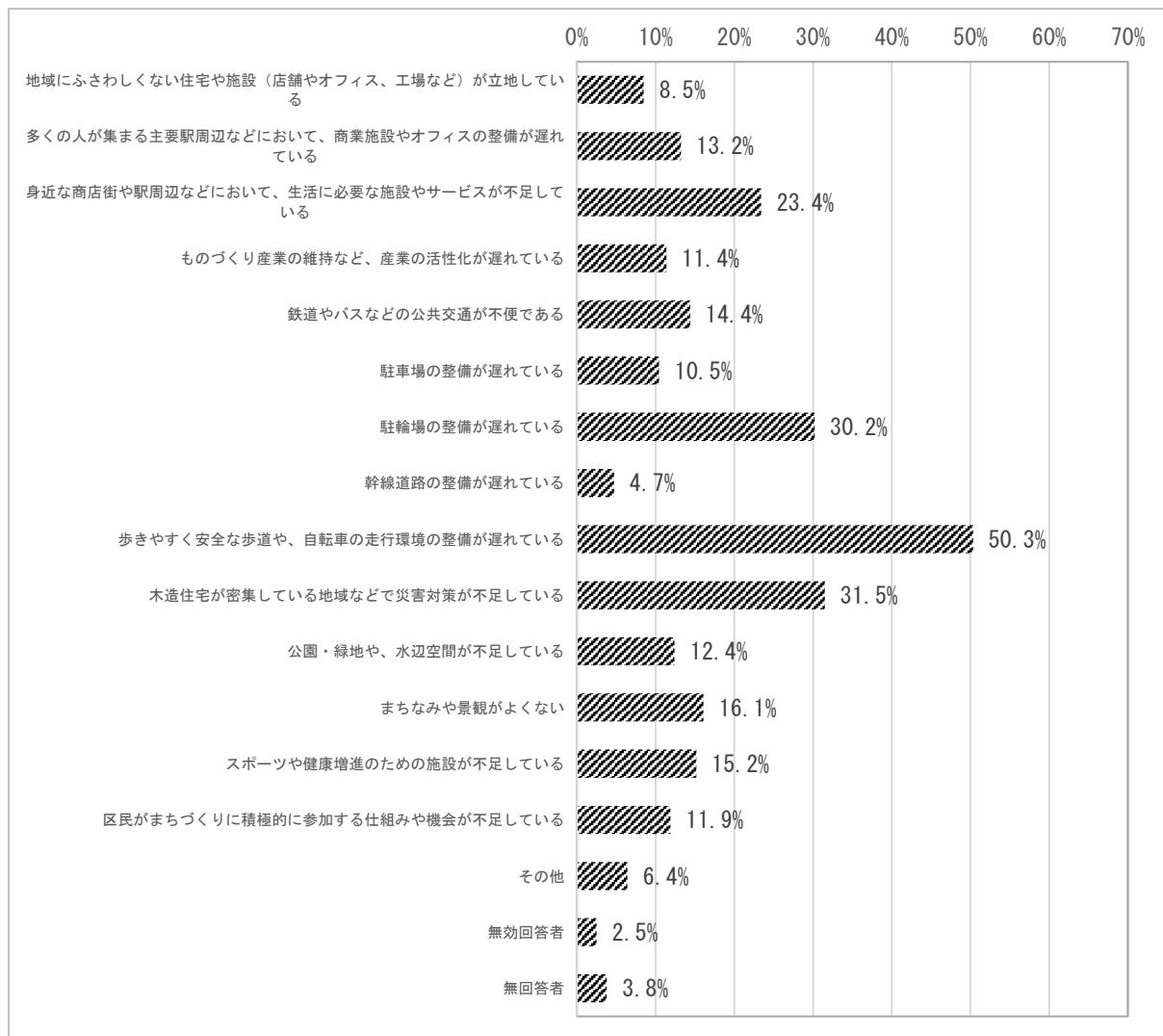
● 大田区のまちづくりについて良いと感じること

・「鉄道やバスなどの公共交通が便利である」を選択した回答者が最も多く、5割を超えている。次いで、「身近な商店街や駅周辺などにおいて、生活に必要な施設やサービスが充分ある」や「公園・緑地や、水辺空間が充分ある」を選択した回答者が3割を超えており、公共交通の利便性や商業サービスの充実、公園や水辺空間などの自然環境に魅力を感じている人が多い。



● 大田区のまちづくりについて課題だと感じること

・「歩きやすく安全な歩道や、自転車の走行環境の整備が遅れている」を選択した回答者が 50.3% であり、課題に感じている人が最も多い。次いで、「駐輪場の整備が遅れている」や「木造住宅が密集している地域などで災害対策が不足している」を選択した回答者が多い。



5. まちづくりへの関心と参加経験について

・「地域のイベント（まちづくりの勉強会やワークショップなど）への参加」や「まちの価値を継続的に向上させるための取り組み（エリアマネジメント、社会実験等）」について、関心を持っている人が多い。

・まちづくり活動に参加した経験がある人は、7.3%である。

